



「ゆとり」をもたらす活動について（平成19年2月定例会）

人間関係の希薄さや地域コミュニティの崩壊、家庭の崩壊、また、子供や高齢者など弱者を巻き込む凶悪犯罪の多発など、現代社会が抱えるさまざまな問題や課題の要因の1つが、そこにあるように思います。こうした殺伐とした今の時代であるからこそ、大人も子供も、心身ともにもっと「ゆとり」が必要になっているのではないのでしょうか。

私は、16年前からガールスカウトのリーダーとして、また、7年前からはレクリエーション指導者として、様々な活動に携わってきました。こうした活動の中で、規律の遵守や協調性を学んだことはもちろんですが、多くの方と知り会えたことや、人の優しさに触れたことなどから、心に適度な「ゆとり」を得ることができたように思います。

山口国体を控え、競技スポーツの強化が大切なことは承知しています。その上で、人の心や体にかかせない「ゆとり」をもたらすレクリエーション活動の普及に、是非取り組んでいただきたいと思います。ご見解をお伺いいたします。

【教育長答弁】

山口国体を4年後に控えまして、県民総参加の国体に向けた取組と一体となって、本県におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図るために、「山口国体県民運動」とも連携しながら、来年度より新たに、10月をエンジョイ・スポーツ月間と定めまして、グラウンド・ゴルフやソフトバレーボールなど国体の「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」の中で行われます種目の交流大会など、県民誰もが気軽に参加できる多様なスポーツ・レクリエーション行事を展開するとともに、県民へのレクリエーション情報の提供や指導者の育成にも努め、レクリエーション活動が県民の皆さんにとってさらに身近な活動となるように取り組んでいくこととしております。

県教委といたしましては、今後とも、関係団体や市・町と連携しながらレクリエーション活動のさらなる普及・振興を通じて、ゆとりを実感できる豊かなスポーツライフを実現し、「住み良さ日本一の元気県づくり」につながるよう積極的に取り組んでまいります。